#### 町 の

(昭和56年11月30日現在)

前月比較

3,941 (+ 8) 女 4,213 (+12)

計 8,154 (+20) 世帯数 2,644 ( 0)

町民の皆さん 明けまして



方城町長 中 島義章

新春を迎えるにあた

ŋ

町議会議長

山

**ご健康とご多幸を** 輝かしい新春を迎え 心からお祈りいたします

暖かいご支援とご理解を 本年も当町における 財政危機を乗り切るべく お願い申しあげます

(1)

昭和57年1月1日

とうございます。 町民の皆様、明けましておめで

を申し上げます。 深く感謝し、謹んで新年のお喜び ことが出来たのも神仏ので加護と 今年もお陰で新しい年を迎える

おめでとうございます

託に応えるべく議員一同努力を重 むしろこれからが本当の正念場と 年も更に努力をしなければならず ないものでその実現については今 一刻もゆるがせにすることの出来 これらは現在の方城町にとっては 止に関する諸問題等々であります 力追放並びに児童生徒の非行化防 の延長等の諸問題、対内的には暴 の延長並びに同和対策特別措置法 興に連なる一連の石炭六法関係法 としては、対外的には産炭地域振 ねた次第です。とりわけ主なもの 多岐多様に亘り、町民の方々の付 考えているものです。今、 さて、昨年の議会活動としては 、国にお

頂かも知れませんが、やはり何と にあったかを追求する事は愚の骨 けです。今更これらの原因がどこ しょうが無い位い赤字財政の正に ばならない重大な問題と思います。 これからの対策なりを考えなけれ るわけで、正直申し上げて手の施 有史以来の財政危機に直面してい ればなりません。加えて、当町は れ、各自治体にも少なからずその いよいよ具体的な諸施策が執行さ 法案も去る11月国会にて成立し、 火の車で借金の山となっているわ しても皆で振返って反省の上で、 しわよせがあるものと受止めなけ (裏面へつづく)

# 一月のこよみと行事

七日 四日 十日 三日 日 七草粥 官庁御用始め 初荷、書初め 元旦、初詣で

防出初式 鏡開き 成人の日 下田川四ケ町連合消 (赤池町)

十五日 十一日

二十五日

旧正月

いては行政改革を進めるべく関係  $\Box$ 忠 市 大

正三年

 $\dot{+}$ 

二月

+

五

В

三菱

女方 城炭

坑

ガス爆発事故の犠牲者の

冥福を祈り

悼法要、

回

願

然式を開

催

方

城

町

財

政健

全

化

K

つ

11

て

議

会議

決

さ

れ

ま

し

ずつ火を消し山を削り取るべく、共に力を合わせて曳きながら少しの「火の車の赤字の山」を皆様とこれからは、何年かかっても、こ

って です。私達は方城を捨て、他て山河在り、ここ方城は私達現われて来つつあります。国日の赤字財政への一端にもなが、それらのつけが回り回っが、それらのつけが回り回っ

です。私達は方城を捨て、他所でです。私達は方城を捨て、他所でいたカ強い心と心のふれ合いを糧いた力強い心と心のふれ合いを糧いた力強い心と心のふれ合いを糧として再建元年に立ち向おうではなりませんか、あえて新年早々、町の財政事情の危機を赤裸々におありませんか、あえて新年早々、町の財政事情の危機を赤裸々におありませんが、あえて新年早々、町の財政事情の危機を赤裸々におありませんが、あれ合いを糧として再建元年に立ち向おうではありませんが、あえて新年早々、町の財政事情の危機を赤裸々におありませんが、あれ合いを増をお祈り申し上げ、併せて皆様方ので健康をお祈り申し上げます。 は私達の国破り

なって で町れて今 要かな希望につながる新しい町づくりを目指して、石炭産業に代わる地域雇用確保を図るため、工場誘致を積極的に推進した結果、九勝致を積極的に推進した結果、九大のでは、1000円のでは、10 僅かながら

却すべく町自体住民に訴え、意識名化方針に向って検討し、財源確全化方針に向って検討し、財源確めるが、今日の現状から見れば微あるが、今日の現状から見れば微あるが、今日の現状から見れば微いない。

(3)

窓口手数料、

の適正化

(2)

公営住宅使用料

の

適正化、

及

及び完全徴収

び完全徴収

と評価できるにあるのは、 大された行政施により、拡炭地振興の実 国の各種の産 口増加の傾向 の内容が見直 ものである。 然しながら

により人口も約半数となった。 を方城炭鉱の全面徹退によって、 を方城炭鉱の全面徹退によって、 を方城炭鉱の全面徹退によって、 をであったが、国の石炭政策で三 が、国の石炭政策で三 されて

監査委員、監査報告、決算特別回定例議会が開催されました。十二月二十三日まで、方城町第三昭和五十六年十二月十五日から

ギー補給地として重要な役割を果六○有余年間に亘り我が国エネル城炭鉱の開鉱を契機として、過去城方鉱町は明治三十五年三菱方

くし、こり、町はひっぱ 続けられたこされないまま、 政を余儀なく年間は赤字財 いる。

超えている状態である中で、なん財政的にもすでに限界をはるかにした施策による財政負担は多く、れに伴って、地区住民の要求に応れに伴って、地区住民の要求に応四パーセント強と、全国的に見て四パーセント強と、

第130号昭和57年1月1日広

方城町財政健全化の大綱は次のとましたが、提出議案第六十六号、

近出議案第六十六号、一般質問等が行われ

委員会報告、

おりです

(歳 入)

(1) 地方税課税 自主財源の確保

ある。

議決し

以上の

十二月二十三日

化に努める。

も準用し、全町は、以上の各項目に

全町的な財政の健全

口は、特別会計に

12

# 方城町財政健全化方針

地方税課税容体の完全補そく

中

下

に削減を図る。

扶助費

の見直し、

る負担金、補 補助費等の

経費の適正化を図り、

前年度以

とし単独事業の抑制に努める。計画を立て直し、国庫事業を主計画を立て直し、国庫事業を主

いては、 国庫事業を主

長期

助金の洗い直しを行う。各種団体等に対する負担金、

の

(3)

物件費、維持補修費等、経常正化と組織機構の見直しを図る。

議 숲

ワタリ是正)

及び定員管理の適

(2)

人件費

の

を図る。

般会計の予算規模の適正化

(6)

住宅新築資

貸付金の貸

の適正化、

及び完全回収。

適正な管理

遊休財産の計 保育料の適正

画的処分、

及び

(歳出)

に努力する覚悟であるの向上を図ると共に、 財政 健全化

#### 問 題 に つ (1 て 学 級

の額が増大したので、

政

治

十二月七日午後一

時三十分か



永末財政課長から町の予算、

説明がなされ

ました。

、昭和四十九年度、まり、だんだん赤字の場

「犠牲者の遺族など約百人が参列、で追悼法要が、また、十一時三○で追悼法要が、また、十一時三○で追悼法要が、また、十一時三○で追悼法要が、また、十一時三○ 焼香。

城炭坑坑内爆発事故が発生、

大正三年·

十二月十五日、

三菱方

て の

時間(午前十時三〇分五才児)約五〇名が、 犠牲者の 五才児) 村園長から簡単な話 め 町立保育所の園児 十時三〇分)に参列、五〇名が、少し早めの立保育所の闌児(四、 しを聞き、 た。

家族などの焼香

特

別

養

木

『方信後護老

信

氖

を

町

立 慰

第

保

育

報



方城町では、爆発事故の犠

者

の冥福

うな行事が行わ

ま

日

次

の

まず爆発時刻の九時四〇分、

(3) 昭和57年1月1日

めい福を祈る中央保育所の園児たち

贈

りま

いちゃ

しん

おばあち きたての きたての の園児 てのおもちを、おじいちゃ人ホーム、方信園を訪問、兄(八〇名)たちが、特別 ちゃ んたちに贈

町立第三保育所

特別養

っ

いるものです。 いっせいにもちつき大会が行われてんので好意により、毎年行われていっせいにもちつき大会が行われいっせいにもちっき大会が行われ 方城町立保育所 (第 一、 -七日に

> 年実施してきましたが、財源不足各種事業(道路、施設など)を永城住民の福祉の向上を図るため、 五年度で六十八億六千九百万毎年苦しい財政事情となり、のぎをしたが、昭和五十年度 のぎをしたが、四開発公社に町有料 す。と述べ、そのあと質疑応答がが年々増加したためによるもので 債(借り入れ金の事)を 生民り言と)」 この起債が増大した原因は、 こと、シャムの事)をしていま 地を売却、 五十年度以後 方城町土: -九百万の起いなり、五十 地 起

財政に対する認識を新たにし、有の財政状況を学び、町民として町行われ、赤字再建団体寸前の当町 力を誓いあいまし、それぞれのな 意義な学習会を終え、 1分の立 の立場での協 町行政に対

つい

### お りました。



方信園で元気いっぱい踊る園児

城

町

奨学生

末もち

つ

き大会を開

催

十二月二十三日、

午前九時から

町立図書館だより

母子会

日

## 大日本寥粋社、 方城町身障福 ス 社会、

(4)



スカートを受取る山崎会長・田勝弘さんから

報

追

放

L

ょ

う

シンナ

などを吸う

ع

覚せ

(1

剤

ナ

遊

75

とて

·精力剤

自制心を失う

(非行、

交通事故

甘い誘惑!ちりの脳のマヒや窒息により、脳のマヒや窒息により、

による死亡が多

ほ

う

じ

社会、母子会に多数のスカートの小田勝弘さんから方城町の身障福以治結社、大日本寥粋社の代表、場助役室で、田川郡川崎町にある場のである。

小田勝弘さんの善意によるものでどに役立ててもらいたいという、として、身障福祉会、母子家庭なるれは歳末助け合い運動の一貫 贈呈がありま 物語 12. 大鏡 5 日記、和式 13. 和式 13. 和式 納言物語 7. 6. 歌謡集 宇津姆

9.源氏物語

子会、社教ではスカートの配分方感謝するとともに身障福祉会、母大日本寥粋社のご好意に対し、 を これを これで これで これで できまった こうない て 会議を 行い、 近 法について 会議を 行い、 近 ・近い内にトの配分方 母 

> 集、一茶 田秋成集 歌論集、能率 36. 椿説弓張月 一茶集 能楽論集

本古典文学大系(岩波書店刊今般左記図書を受入れました 4万葉集 5.古今和歌集記祝詞 2.風土記 3.古代 注解ツキ) **俳論集** 

古事記祝詞

金槐和歌集 77方丈記、従然草、物語 15新古今和歌集 16山家集25大鏡 13今昔物語 14字治拾遺5日記、和式部日記、更級日記、 7.宇津保物語 8.落窪物語6.竹取物語、伊勢物語、 8. 落窪物語、提中伊勢物語、大和物語 土佐日記、 記、かげろ 10. 枕草紙

29.近松净瑠璃集 30. 集

舞伎脚本集 33. ][[ 35. 黄麦紙酒落本集34. 柳狂歌集 34. 蕪村 39.春色梅児誉美 31. 風来山人集 37.東海道中膝栗毛 41.連歌論集、 32. 上

ころ上下 シベリア捕虜収容所上、トちゃん、吉田茂と其の時代、こわたしの情報日記、窓ぎわのトッ少年朝日年鑑、昭和史のおんな、

景、

日本の逆転した日、人生の考察、育は死なず、人間万事塞翁が丙午、の女、野の寺山の寺、マリコ、教 ワルツ、さまざまのくの人形たち、. 強い日本人弱い まな季節に、隣り、無名仮名人名簿、 .日本人、

みち

ちの海狭、北国通信、凶学の巣、の群像、巨いなる企て上下、女たる日、日本の未来、吉野大夫、峠になれるか、ソ連が中東を制圧す になれるか、ソ連が中東を制圧す NHK文化講演会、君は田中角栄 景、交通事故の損害と賠償額、健と筑豊、心に残る人々、日本の風小児病棟、福岡県の歴史、ふるさ 交通事故の損害と賠償額、

のでどしどし御利用下さい。
で入れることにしたいと思います。なお新刊書で読みたい本がます。なお新刊書で読みたい本がます。なお新刊書で読みたい本がありましたら図書館に御連絡下されば出来るだけ書店から取寄せて すてさがい

覚せい剤中毒の中年男が、母親転して次々に九件の交通事故。 飛び込み、さらにトラックを運 飛び込み、さらにトラックを運 油をまいて放火、自なしめるのか」と騒ぎ、 を食事中幻覚から「何で俺を苦 長距離トラックの運転手が覚せ 自宅全焼

あなたは日に日にスマートになっ疲れ知らずで今日も元気に。眠けバッチリ、頭ハッキリ。軽誘惑します。この薬を打てば、 この手であなたの団の有力な資金

甘い言葉の



裏には……

第130号 昭和57年1月1日 広

。青少年の成長が阻害さ

ħ

る。

覚せい剤は暴力団の有

い誘惑!巧妙な手口にご用

心

など)

貧血など血液に異常をきたす。

源です。

あの手、

常をおこす。のが見えたりする)など精神異のが見えたりする)など精神異

脳波に異常がおこる。

幻覚(普通の人には見えないも。肝臓や腎臓など内臓がおかされる。

電柱や立木がして、覚せい剤中毒になると 下さい。 などの甘い誘惑には十分注意 にみえる。

## お互いの人権を尊重し、差別のな 生じ、殺人、傷害、ての追いかけられている。の追いかけられている。の追いかけられている。 滅。 三ヶ月位して幻覚や妄想が出て 三ヶ月位して幻覚や妄想が出て 三ヶ月位して幻覚や妄想が出て が子どもを残して蒸発、一家破が子どもを残して マージャン店マネージャーの悪魔がひきおこす悲劇 悪犯罪の原因となりま い町づくりを 殺人、傷害、放火などの凶の幻視、幻覚、幻想、妄想を $(\Box)$ ₩ 福岡県薬物乱用対策は 覚せい剤に関する相談は 本部(福岡県衛生部薬務課) ホワ 福岡県薬物乱用対策推進地方 Ē L

〇九二

七一二 保警保安

## 一国人に も 国民年金 の

ます。
こことを、つけ加えておきがあったことを、つけ加えておきがあったことを、つけ加えておきがあったことを、つけ加えておきがあったことを、つけ加えておきがあったことを、つけ加えておきなお、このもちつき大会開催に ーボール等を購入、有意義に使わなお、この浄財は野球道具、パレをいただいていたお礼のためです。をいただいていたお礼のためです。てれは以前、奨学生にスポーツ ったわけです。 国民年金加入の道を開くことになほらず広く一般の在日外国人にもることになったのに伴い、難民にど我国も国連の難民条約に批准す られていました。ところが、こん日本国内に住む日本国民だけに限いままで国民年金の加入対象は

方城町第一隣保館前で、方城町奨学生年末もちつき大会が行われまりた。この日はどんよりと曇ってったも降りだしそうな天気でしたが、参加した十九名の奨学生たちが、参加した十九名の奨学生たちが、参加した十九名の奨学生たちが、参加した十九名の異学生によって、六斗のもちがまたた。

になり、保険料を納め、それぞれていなければ、国民年金の加入者の人で他の公的年金制度に加入し国人のうち二十歳以上六十歳未満国人により、日本国内に住む外

例措置は行われませんので三十五 を令年金や通算老令年金を受けられる見込みがない人は、任意脱退 ができることになっています。 なお、この実施時期については 色々な準備が必要なことから昭和 五十七年一月一日が予定されています。 十五年の資格期間の短縮などの特 ただ、老令年金受給のための二けられることになります。 の年金の要件を満せば、 年金が受

#### تلح ん تخ 焼 0 お 知 ら

## 確定申告書は、記載例などを参で、早めにお願いします。 み で

報

定申

告の時期が近づき

で、

受取りは

銀行振込

勤務先で

整を

済ませると

マンの方は

考にして、

ほ

う

還 付

申告は

お

早めに

山組、

業者組合、

、方城縫製工場にももの一部を、崎

がりました。

出来あがったもちの一部を、

じ

ょ

方法をご利用されるようお勧めしきますので是非便利で安全なこのを含む)振込みで受取ることがでを含むで、張込みで受取ることがでいた。 「どんど焼の由来」

ます 方法をご利用 また申告のことで

りの税務署か税務相談らないことがありまし 四談室にお気軽いお分かりにない。

時半には火を消します。※十二時半ちょうどに点火して※十二時半ちょうどに点火している。 赤坂八幡 境内 全交通安全を祈願いたしましょう。を左記のようにいたしますのでどを左記のようにいたしますのでどれば俳句会恒例のどんど焼の行事 雨や風の強い時は中止 |時半より二時半まで||七日||小雪 (雨) 決行 とから付けられたものと思われます。 その火で餅やスルメを焼いて食べ体を温めると災難を免れまたは若返ると昔から言われております。 また書初めをした用紙を火にくべまた書初めをした用紙を火にくべる (上達) のしるしとして喜ぶがる (上達) のしるしとして喜ぶがる (上達) のしるしとして喜ぶ が激 しが 方城町教育委員会後援

主催

場 場 所 会 高点者三位まで賞あり場所 八幡町集会場広間※句会 二時半締切 五句 方城町俳句会

加

(5) 昭和57年1月1日

とんどの方は確定申告をしなくてもよい仕組みになっていますが、もよい仕組みになっていますが、方などについては、特別の控除だ方などについては、特別の控除があり、確定申告をすれば、すでに源泉徴収された税金が返ってく この還付を受けるためのる場合があります。

のは

まって焼きます。 家々の松飾り、シメ飾などを持ち 正月に行われる火祭りの行事で

るこ

どんどん燃え上が

はたち〟のみなさん 国民年金に

しましょう

お

検察審査会制度を

ご存じですか

?

報 用は一切無料ですので、気軽に検れ、相談や申し立てについての費をだと判断したときは、もう一度をだと判断したときは、もう一度をがと判断したとが、もう一度をがと判断したとが、もう一度をがいるがある。 正しかったかどうかを審査し、そはたして、そのような取扱いが方は検察審査会に申し出ください。

察審査会事務局 にで相談ください 田川

新しなかったのはどうも納得でき 選挙違反や汚職など社会の耳目を 選が犯人を裁判にかけてくれない。 官が犯人を裁判にかけてくれない。 で通事故、詐欺、おどしなど、 す。不起訴になった事件に不満のる人のために検察審査会がありま そういう不満のあ 務めを果すようにしてください。会の役割を理解され、進んでこの検察審査員に選ばれた時は、審査ますので、ぜひご出席ください。 検察審査員は、 して選ばれるか

(裁判所内)

検察審査員は、どのように

選挙人名簿を基にくじで候補者をれます。まず町選挙管理委員会が検察審査員は、十一人で構成さ 知を出しています。)またこの制った方、(すでに候補者決定の通 一月十四日、午後一時三十分より度について詳しく知りたい方は、 で審査員を決めます。候補者に当 選びさらに審査会事務局長がく

交通事故と健康保険 治療費は

加害者が払うもの

をすぐに出しましょう

して、すぐ届けるようにしてく 所および事故の状况などを明記 との傷病届に加害者の氏名、住 交通事故などに遭われた場合

ださ

険事務所にお問い合わくださいなお、詳しくは管轄の社会保

ています。

険事務所に届け出ることになっ の行為による傷病届」を社会保 原保険を使った場合は「第三者 でのため、交通事故など第三 を関係です。

「第三者の行為による傷病届」

害者側が自分の健康保険で支払傷にかかる治療費や休業補償、傷にかかる治療費や休業補償、しかし、交通事故の場合、負しかし、交通事故の場合、負 不幸にして交通事故に遭い、入院して治療費を支払う場合、はよいのかご存じですか。 、ガをした場合に保険給付が行・家族の方々が業務外で病気や 交通事故で 負傷 った治療費は、本来、加害者が そのまま被害者の健康保険で治 を費が支払われてしまったので は、健康保険加入者の方々から は、健康保険加入者の方々から は、健康保険加入者の方々から ないる。この出費は、健康保険の損 す。この出費は、健康保険の損 は家族に関する保険給付の場合務所が加害者に対して、保険給務所が加害者に対して、保険給めることになっています。これがなるでとになっています。とれいることになっています。 社会保険事務所



## 知 板 許

山

0

す。したときで

われるもので、

告

# 一日から施行されます。法」として、昭和五十七年の一月法」として、昭和五十七年の一月され、「出入国管理及び難民認定「出入国管理令」の一部が改正

第130号昭和57年1月1日広

島、及び台湾出身の人々、その直き続き日本に存留している朝鮮半月二日以前から申請の時まで、引ての改正により、昭和二十年九

系 卑属として日本で生まれ、申請 が与えられることになりました。 が与えられることになりました。 中請資格、申請方法など、詳し いことは、法務省入国管理局、ま いことは、法務省入国管理局、ま せください。

## 員募 知ら Ū

## 団 日 中 友好 「福岡 県青年の

船

\_

しています。船」の一般団員を次のとおり募集船」の一般団員を次のとおり募集 (1) 五歳未満の男女

中華人民共和国(青島、済南、天船所属一万五千トン)に乗船し、日間「新さくら丸」(商船三井客五日から五月二十八日までの十四 五十七年度は、 七年 五月十

満二〇歳以上二十八歳未満(昭し、昭和五十七年一月一日現在) 国籍・年令……日本国籍を有

月一日現在満二十七歳以上三十男女、班長は、昭和五十七年一十七年一月一日までに出生)の和二十九年一月二日から昭和三

国籍·年令…… 北京)を訪問します。

方城町中央公民館一、申し込み**メ切り** 

報

広

歯

科休

一、申し込みメ切りもに、かなりのハードスケジュもに、かなりのハードスケジュな者。 (ウ) (王) はうとする者。 おうとする者。 はうとする者。 はりとする者。 ほんし、なおひきつづき居住し 居住し、なおひきつづき居住し 活動が期待される者。青年団体、地域において活発な 社会への貢献……将来職場、 心身の状況……協調性に富み 七年一月二十 三日

を積極的にすす の建設をはじめとして、りをめざし、公営住宅や 公営住宅や 公営住宅や学校など、住みよい郷土づく めて います。 公共事業

七

県では次のとおり公募債を発行しは、多額の資金需要にこたえるため、このは、多額の資金が必要です。この ます。

実に運用されます。れない確定した利回りで、安全確との県債は景気の変動に影響さ

は

最寄り

貨物自

動車及び軽乗用兼用貨物

動車

▽利 率 年八・一パーセント でくりにお役にたちます。 でくりにお役にたちます。 が発行総額 七○億円

県市場公募債 七〇億円を発行 第九回一号

▽発行予定 昭和五十七年一月二(払込金九千八百五拾円)▽お申し込み単位 額面一万円券、一万円券 ▽債券の種類 ▽債券の種類 ▽期 ただいま募 ん償還あり) 間 十年 百万円券、 (途中一部抽せ 十万円

▽優遇措置 優+(特優)で六百万月二十二日 昭和五十七年一 ¥ 円まで無税扱 し込み又は問 りの証落会社へは問い合わせにつ 合わせ

いてに係る物品税の免除につに係る物品税の免除につ軽普通乗用四輪自動車等身体障害者等が購入する

集

中

したので、免税の対象となる自動用四輪自動車等にまで拡大されまが、従来非課税であった軽普通乗ら課税の対象となる自動車の範囲 正され、昭和五十六年五月一日か税について、物品税法の一部が改身体障害者等が購入する自動車 車が次のとおり 軽普通乗用四輪自動車、 り増加しま 乗用兼用 した。

(注) 年利率については変動す ます。 る

年月日	当番医療機関名	所 在 地	電話番号
十二月二十九日昭和五十六年	大城歯科医院	田川市栄町二―三	④〇三七八
十二月 三〇日	田中	〃 魚町六―十二	<ul><li>①九四七四</li><li>①九四七四</li></ul>
十二月三十一日	水城 "	〃 弓削田字角堂	④九四七四 九四七四
一月 一日 一日	菅	田川郡黍田町大字庄	②一四七一四七八
一月 <i>"</i> 二日	土井 〃	田川市春日町一―二十五	②七七〇一
一月 <i>"</i> 言	田中	田川郡赤池町	〇九四七二八四六四
三月二十二日	平岡	田川市伊田町十四―一〇	② 一 〇 九四 七四 九四 七四

田川医師会では、 本仕の精神をもって、このたび、 本仕の精神をもって、このたび、 を仕の精神をもって、このたび、 日急患診療が 実施 さ 記 れ ま す

(7) 昭和57年1月1日

在地・電話番号は、次のとおりの診療日及び当番医療機関名・所の診療日及び当番医療機関名・所の診療日及び当番医療機関名・所の診療目及び当番医療機関を

〇実施期間 一月一日 O診療場所 (昭和五十 日 在宅診療にて 七年 六 年

一時 一時 当番制 午前九時~

昭和五十六年度第

四次及び

高校

卒業者の一般自衛官募集案内

#### 級及び二 通 級 制 技 訓 練 士 K 訓 練 11 7 程

は一年後にその資格を得られる方) ては、一級技能検定受検資格者又 できます。(ただし、一級につい 実務経験があればだれでも受講

標準一ヶ年(いつでも受付けま

二、訓練期間

導(二~三日) 習、質疑応答、設問解答、面接指 教科書、指導書等による自学自

三、受講料 一級八千円、

面接指導は、当大学校、職業訓

四、訓練内容 二級 六千円

練短期大学校、総合高等職業訓練

校、技能開発センター等で行いま

関係、洋服科関係、塗装科関係、 五、募集職種 機械関係、建築科関係、印刷科

六、特典 修了者には受講した訓 科試験が免除されます。 他、全部で三十三課あり。 練科に対応する技能検定職種の学

▼八二〇 飯塚市大字柏の森八三 ・九、飯塚技能開発センター

申し込みください。

「受講案内」等は次のところにお

電話 〇九四八二~二~四〇一八 飯塚総合高等職業訓練高

(通信訓練担当まで)

## 昭 和五十七年度養成 募集に 訓練生 つい

は、五十七年四月入校生を次のと おり募集しています。 福岡県立直方専修職業訓練校で

(0)

昭和五十七年三月高等学校卒

7

一、訓練計画

株造物 一〇名	密接科 一〇名	機械科三〇名	科訓目練定
名	名	名五十十八七	圓期
"		年四月から	m
女男	女男	女男	性別
かけれる が が が は が の を を を の 数 の 数 の 数 の 数 の 数 の も の る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も る る る る る る る る る る る る る	技能の習		訓練概要

(1) 見込みの人

二、応募資格

昭和五十七年三月中学校卒業

い その他 一般求職者で三〇才 三、募集期間 以下の人 業見込みの人

昭和五十六年十一月九日~五十

七年二月十九日

四、申込み先 最寄りの公共職業安定所、

直方専修職業訓練校 又は

タコあげは 1) ところで

(国 〇九四九二 (=)

一七四九

## 0 な

電線の近くでは、 お父さま、お母さまへお願い タコあげのシーズンです。

すから自分でとらずに、最寄りの

当社営業所へで連絡くだ

さい。

• タコをとろうとして電

柱にのぼるのはやめま

電線にかかったタコは、危険で

四、試験科目、国語、数学、社会 タコを絶対あげな 九州電力では、五 いように、お子様 へで注意ください。

で電線にひっかか 十五年度に全九州

・タコをとろうとして、

糸をひっぱったり電線

しょう。

った約二千二百個ものタコを除却 ました。 を竹ざをなどでつくのは大変危険

田八二〇 電話 〇九四八二-又は飯塚募集事務所(飯塚市横 問い合わせ先 四八四七)へ 役場総務課 惑をかけること があります。

19

三、受付及び試験日時 受付常時

されます。

二十五才未満の男子

下旬又は四月上旬)

、高校卒業予定者の入隊は、三月

二百円)、ボーナス

年三回

二月下旬

六十名

二十五名

三十名

五、初任給等 九万六千円(衣食

住等は無料、実質約一四万一千

一月下旬

六名 六名

四名 四名

四名 四名

及び作文

入隊月陸

上

海上航

空

採用人員(筑豊地区)

試験日は受付時に指定

一、応募資格 年令十八才以上~

三十四万円)又は三年(約五十

四万円)が退職しなくても支給

約五ヶ月分 退職金 二年(約

なさまに大変迷 電して近所のみ そのために停

広 報 ほうじょ う

(130号)

昭 和五十七年一月一日発行

編 発 集 行 方 城 町 場

印 刷 協 総 務 刷 課

記 事の訂正と お わ U

武内浩一さん明の中で表彰を受ける青年団長 ます。 ので、訂正するとともに関係者( 「広報ほうじょう」第百二十九号 武田浩一さん)に深くおわび致し で次のとおり誤記事がありました のこよみ 先月号、 ページの十一月 訂正前記事 昭和五十六年十二月号 十二月のこ よみ 田浩 正後記事

